

フルーツファーム 24

人からしてほしいと思う通りに、人にもする

AINOMI
S W C あいの実
人からしてほしいと思う通りに、人にもする。

——子どもたちの想いが社会とつながるまで——

視線が描く、 未来へのカレンダー

多国籍メンバーと歩む新たな介護研修のかたち
響き合うケアのこころ Orange Academy

ベッドサイドでの訪問ハープ奏者
あいの実三施設での訪問演奏を達成

フルーツファーム 24 第24号2026年3月10日発行 ©2017 SWC AINOMI

INFORMATION

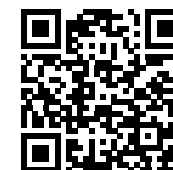
ご支援受付中。あいの実の2つの挑戦に、力を貸してください。

「社会とつながる」喜びを、もう一度。

医療的ケア児の母親たちが働く「カフェ・ドウ・チルミル」応援プロジェクト

働くのって
こんなに楽しかったんだ！

24時間、我が子の介護に追われ、社会から孤立していたお母さんたちが、ここで再び笑顔を取り戻しました。しかし、この灯を未来へ繋ぐには、あなたの応援が不可欠です。



プロジェクトの詳細情報や
ご支援はこちらから

難病や重い障がいと生きる「尊厳」を支えるご寄付を。

～あいの実の挑戦～

人からしてほしいと思うことを、
人にする

私たちは制度の狭間にある方の尊厳と希望を、二本柱で守ります。ALSなどの難病の方へ、24時間の訪問介護を届けます。重症心身障害児・医療的ケア児の居場所と挑戦を育てます。どうか、私たちと共に未来を創ってください。



プロジェクトの詳細情報や
ご支援はこちらから

パートナー企業の募集中。お気軽にお問い合わせください。

CSR
(企業の社会的責任)
の一環

地域との交流や
地域の活性化

ニッチな社会課題や
支援の周知活動

社員研修
(人材育成やボランティア)
としてのご活用

パートナー企業様の税制上の優遇措置

社会福祉法人あいの実とは特定公益増進法人です。一般の寄付金とは別枠で損金の額に算入されます。また、パートナー企業としての参加方法によっては広告宣伝費として経費計上することができます。詳しくは貴社税理士にお尋ねください。

パートナー
企業様
のご支援方法

協賛金
医療的ケア児者福祉事業やカフェの運営支援など

施設やサービス、技術の提供
イベント施設の貸出、写真・動画撮影や編集など

イベントやプロジェクトへの協賛品
物品・食材・アウトドア用品の供与・貸与など

ボランティア
イベントでのお手伝いなど

AINOMI・AVAIN
LINE 公式アカウント

ボランティア募集やイベント情報を配信しています。まずはご登録を！



AINOMI
S W C あいの実
人からしてほしいと思う通りに、人にもする。

[編集・発行]

社会福祉法人あいの実

〒981-3217 宮城県仙台市泉区実沢字中山北100-2

Tel : 022-785-9440 Mail : info@ainomi.com

SENDAI

AVAIN
PROJECT...

仙台 あばいんプロジェクト

WEBで
詳しく見る





ご あ い さ つ
乾 祐子

□ SWCあいの実理事長
□ 一般社団法人全国重症児者サービス・ネット
ワーク顧問
□ 昭和27年生まれ 仙台市出身
平成17年に主婦数人と共に「NPOあいの実」
設立。自身や子供たちも特定難病疾患を経験し、
それらの経験を生かした「弱い人を理解できる・
頑張っている人を応援する経営」をめざす。

春を待つ
芽吹きのように
寒さが本格的になりましたが、
草木は春の準備が始まっている
ようです。皆様、お元気で過ご
しましょうか。
この半年を振り返りますと、私
たちの活動が一つひとつ具体
的な形になり、多くの場所で実
を結んできたように感じます。
特に、子どもたちが視線で描い
た「GAZE ART BOOK」
が、企業様のご協力で一冊のカ
レンダーになりました、社会へ羽ばた
いていったことは、私にとって
大きな喜びでした。
このプロジェクトが動き出し
たきっかけは、個人として私た

ちを支援して下さっていた
方とのつながりでした。「重症心
身障がい児や医療的ケア児の
ことをもっと世の中に知って
もらいたい」というその方の熱
い想いが、大きな組織を動かす
力となりました。
ICTという技術を使うこと
で、ご家族さえ知らなかったご
本人の豊かな感性が引き出さ
れ、それが誰かの日常を飾る宝
物になる。これこそが、私たちの
理念である「人からしてほし
いと思うことを、人にする」という
想いが、目に見える希望として
現れた姿だと確信しています。
また、オレンジアカデミーで学
ぶ多国籍な仲間たちが真面目
に研修に取り組む姿や、あいの

実と歩みを共にしてくださる
方によるハープの演奏。そこ
には、言葉や国籍の違いを超えて、
「誰かの力になりたい」という
真っ直ぐな気持ちがありまし
た。
誰かのために自分ができるこ
とを精一杯にする。そのシンプ
ルな優しさが積み重なるとき、
制度だけでは作ることができ
ない、本当の意味で安心できる
「居場所」が生まれるのだと思
います。
これからも、弱い人を理解し、頑
張っている人を心から応援す
る経営を貫いてまいります。皆
様と共に、誰もが自分らしく生
きていける未来を、一歩ずつ
作っていったら幸いです。

フルーツファーム

VOLUME
24

C O N T E N T S

- 02 視線が描く、
未来へのカレンダー
子どもたちの想いが
社会とつながるまで
- 05 響き合うケアのこころ
■受講生インタビュー
多国籍メンバーと歩む
新たな介護研修のかたち
- 07 ベッドサイドでの訪問ハープ奏者
あいの実三施設での訪問演奏を達成
- 09 令和7年度 ほのびあ・リアルレポート
『行けるかも』を『行けた』へ
- 10 助成・支援のご報告
2025/1/1～2025/12/31までに
ご支援いただいた方たち

10年目のありがとう

勤続10年を迎えたスタッフを
ご紹介します。

視線が描く、 未来へのカレンダー

——子どもたちの想いが社会とつながるまで——

あいの実の通所施設では、温かくて豊かな時間が流れています。
重い障がいのある方々が、視線やスイッチを使い創作に挑んでいます。
ケアを担うスタッフも、日々の小さな変化を喜び支え続けています。
交わる想いにいくつもの善意が連なり、未来へのカレンダーが誕生しました。





あいの実の通所事業では、重い障がいを持つご利用者さんが、スタッフたちの献身的な療育を受け、※視線入力訓練ソフト『EyeMoT』を使って、視線で絵を描く創作活動を続けています。ICTの活用でご利用者さんの新たな個性や力が発見され、創る人も支える人も笑顔があふれ、現場フロアは活気に満ちています。

この取り組みは、清水芸術基金の助成を受けて『アートブック』として結実しました。作品は、デザイナーによって丁寧に構成され、視線の軌跡がひとつのアートとして昇華されています。アートブックは、あいの実の広報担当スタッフにより、図書館や病院などに寄贈され、日常的に福祉に触れることの少ない人々にも、その魅力と意義が届いています。

そんな中、個人としてあいの実を以前から支援していた、リコークリエイティブサービス株式会社の営業企画グループのリーダーがこのアートブックに目を留められ、『アートカレンダー』のご提案をいただきました。また、重症心身障がい児・医療的ケア児を世の中の方に知ってもらいたいという考えから、リコーグループ向けに毎年販売するカレンダー



の1商品として扱うことになりました。ご利用者さんが作成したデザインが『アートカレンダー』という新たなかたちとなって社会へ羽ばたくこととなりました。

掲載にあたっては、あいの実と制作者が正式に契約を締結。作品は適切に権利整理されたうえで使用が決まりました。カレンダー制作に伴う収益の一部は、障がい児・者の自立支援と創作活動の継続に活用される予定です。

この一連のプロジェクトは、ご利用者さんの挑戦、あいの実スタッフの尽力、助成団体の理解、アプリケーション開発者の理念、技術者やデザイナーの協働、そして企業の多部門にわたる連携によって実現しました。完成したカレンダーは、関係者や支援者の一部に届けられています。個性豊かな作品が、日ごとに誰かのそばに寄り添い、小さな勇気や静かな喜びを届けてくれることを願っています。

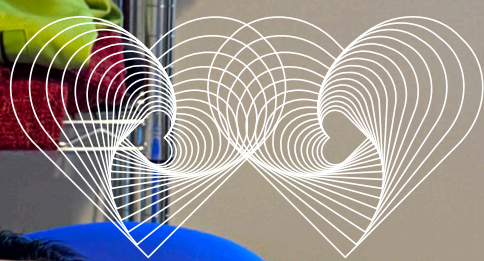
ご協力、ご理解いただいたすべての方々、心から感謝申し上げます。今後も作品が多くの人々の想いと、そして社会とつながっていくように、あいの実の未来は皆さまと共に未来を描き続けます。

響き合う

INTERVIEW

受講生インタビュー

ケアの こころ



2025年12月、あいの実オレソニアカデミーにて、主に特定技能外国人を対象とした『介護職員初任者研修プログラム』第2期が修了しました。

受講生はミヤンマー、バングラデシュ、中国出身の4名。介護の専門用語に戸惑いながらも、丁寧な指導と互いの支えを受け、全員が無事に修了を果たしました。研修では、知識や技術の習得だけでなく、異文化の理解と適応も重要視されました。ご利用者の「ありがとう」が何よりうれしい、「人の役に立ちたい」という純粋な想いが、国や言葉の壁を越えて響き合い、学びの推進力となっています。

多国籍メンバーと歩む新たな介護研修のかたち

ORANGE ACADEMY

ハサンさん バングラデシュ

初任者研修で難しかったことは？

日本語も流暢なハサンさん(31)は、特定技能ビザで来日し、既に現場経験も豊富。さらなるスキルアップを目指して初任者研修に参加し、優秀な成績で修了しました。

彼のレポートには、母語が非漢字圏であるにも関わらず丁寧に綴られた漢字が並び、介護への強い思いと努力の跡がにじみます。初任者研修修了間際に、ハサンさんへのインタビューが実現しました。

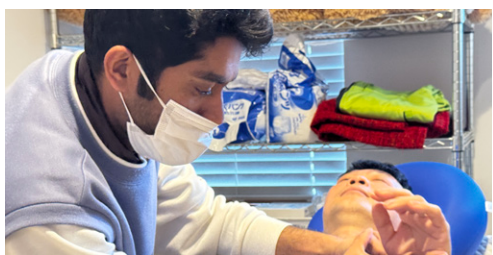
「利用者が心から『ありがとう』と言ってくれる時。とても、うれしいです！」

介護で大変なことは？

(しばらく考えてから)「利用者様が重たい時は、少し大変です。でも頑張れば大丈夫です」

介護で大切だと思うことは？

「利用者様をよく見ることで、状況や状態をよく見て、その人に合った介護をします」



ハサンさんのレポート。母語が非漢字圏の外国人にとって、漢字の習得は特にハードルが高い。

ハサンさんの目指す介護福祉士は、介護系資格のうち唯一の国家資格。外国人受験者の合格率は3〜4割程度。

ジヨさん 中国

受講生のジヨさん。研修後は、あいの実の訪問ヘルパーとして勤務予定。



「はい、介護を続けて、将来は介護福祉士にもなりたいです」

初任者研修の感想を聞かせてください。

「私は3年前に父が亡くなるまで、痰吸引も含め父を介護しました。その経験を思い出しながら、初任者研修を通して介護の基本的な考え方を学びました。」

介護の分野特有の、分からないことや知らない言葉がたくさんありましたが、先生方がとても丁寧に教えてくださいました。ベッドと車いすの間の移動や、ベッド上での更衣、

■特定技能外国人

『特定技能』は2019年に創設された在留資格。介護・建設・農業など14分野の人材不足を補う目的で、一定の技能と日本語能力を持つ外国人に就労を認めています。



第2期の受講生たち

今回修了したのは、以下の多国籍4名の受講生です。

- モツラ・エムディハサンさん (31歳/バングラデシュ)
- ジヨ・デニミンさん (46歳/中国)
- イー・サンダー・トゥーイーさん (24歳/ミャンマー)
- イー・イー・トゥーさん (26歳/ミャンマー)



ハサンさんの実技を見守る女性陣 (右)イー・イー・トゥーさん (左)イー・サンダー・トゥーイーさん

あいの実オレソニアカデミーは今後も、外国人介護人材が安心して学び、力を発揮できる環境を整え、地域福祉の未来を担う人材の育成に力を注いでまいります。

ベッドサイドでの訪問ハープ奏者／曾我あかね

2025年12月24日——年末の喧騒が深まるこの日、ベッドサイドでの訪問ハープ奏者・曾我あかねさんが、ミニハープを携えて仙台市泉区の障がい者支援施設『あいの実ラスベリ』を訪れました。



プライベートでも多忙を極めるこの時期、足を運んで下さった心遣いと繊細なハープの音色が、重症心身障害児とスタッフの胸に、静かな癒しと温もりを届けました。

曾我さんの、あいの実通所施設での演奏は今回が三回目であり、これにより三施設すべてへの演奏訪問を達成されました。

この日、『あいの実ラスベリ』で演奏を聞いた子ども

たちは8名。曾我あかねさんは全体への演奏後、一人ひとりに優しく話しかけながら、再度ハープをつま弾きました。曾我さんはかつて、あいの実をご利用いただいていたご家族であり、現在はベッドサイドでの訪問ハープ奏者として、ホスピスや医療施設などで演奏活動を行っていました。重度の障がいを持つ息子さんと過ごしたご自身の体験をもとに「癒しの音」を社会

に届け続ける姿は、支援者であり、共に歩む仲間でもあります。

あいの実では、ハープ演奏をはじめ、療育キャンプ、絵画展、視線入力アートを形にするプロジェクト、外国人介護人材の受け入れなど、多様な形で地域社会との連携を進めています。個々の支援をはじめ、ボランティアや市民、団体、企業との協働により、共生の場を創出することを目



指しています。曾我さんのような存在は、音楽や芸術を通じて、福祉施設と社会をやさしくつなぐ架け橋であり、これらの福祉の可能性を広げていく力となっています。

INTERVIEW

曾我あかねさんにインタビュー

ハープとの出会いについて教えてください。

「息子がNICUで一年以上過ごしている頃、ハープに触れる機会がありました。弦をはじくと、肩にもたれたハープから音色と共に振動が骨まで伝わり、緊張が解れ、深い癒しを感じました。自分は知らず知らずのうちに緊張していたんだ、と知りました」

演奏に対し、息子さんの反応はありましたか？

「今日のあいの実での演奏時、子どもたちはハミングなどしてくれましたが、残念ながら私の息子にそのような反応はありませんでした。それでも、happy birthday など、折々の気持ちをハープに込めて伝えることができ、良かったと思っています」

曾我さんにとってハープとは？

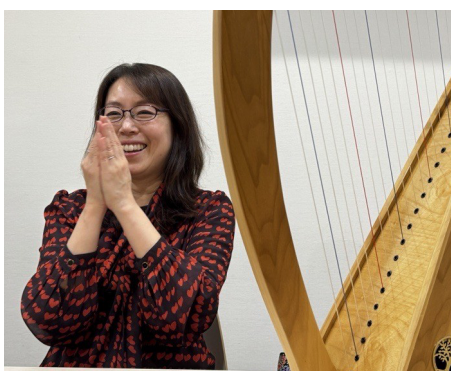
「相棒であり、なくてはならないもの。そして私と、旅立った息子をつなぐものです。演奏を、自分と息子で届けているのかな、という思いもあります」

大切な方を失った方へ、伝えたいメッセージはありますか？

「言葉では難しいと思っています。ほんの少しでも自分のできることとして、ハープの音色に思いをこめてお届けしています」

ベッドサイドでの訪問ハープ奏者とは

ホスピスや緩和ケア、病院、高齢者施設などで、患者さん一人ひとりのそばでハープの生演奏を提供する音楽家です。演奏は単なるコンサートではなく、目の前の方の状態で、その人らしさに寄り添いながら進められます。



●曾我あかね／ベッドサイドでの訪問ハープ奏者
米国 International HarpTherapy Program 修了／CTHP、「よりそいのハープ」副代表

息子のNICU入院をきっかけにハープの音に出会い、モニター音が鳴り響く治療室で過ごす中で、ハープの音と響きに、心と身体がほぐれるような感覚を体験する。6歳で息子を見送った後、同じように医療やケアの場で時間を過ごす方々に、安全で負担のない形でハープの音を届けたいと考え、米国発祥の専門教育プログラムにて医療・ケア現場でのハープ実践を学ぶ。現在は、ホスピス、福祉施設などにおいて、ハープの音を届けている。2023年よりInternational Harp Therapy Program 主宰の Christina Tourin 氏によるオンライン講座にて、通訳・翻訳を担当。



「支援している、とはあまり感じていません。

08 自分のできることをしているだけ」と語る曾我あかねさん

助成・支援のご報告 2025/1/1～2025/12/31までにこ支援いただいた方たち(敬称略・順不同)

助成

● 太陽生命厚生財団

支援	●株式会社 GEAR	●坂上 真大	●千葉 康平	●保科 千里	●佐藤 竜
	●株式会社わたなべ	●三上 寿孝	●太田 百合子	●北川 雅彦	●山本 勝弘
	●株式会社セーテン	●山口 尚治	●大島 恵理子	●野崎 義和	●杉田 さおり
	●仙台トヨペット長命ヶ丘店	●山本 美智子	●中嶋 牧子	●野島 比呂司	●菅 よし子
	●都市建築設計集団/UAPP	●小池 幸子	●猪熊 恵美	●矢作 章子	●太田 直実
	●株式会社市村工務店	●上島 香弥乃	●津田 大輔	●林 杰陞	●丹羽 美晴
	●伊藤 孝将	●菅原 希美	●田中 和教	●鈴木 敬一	●鈴木 和哉
	●株式会社アロック	●菅原 明奈	●澤田 雅史	●鈴木 厚子	●尾下 純子
	●株式会社バードシード	●盛野 真樹子	●二階堂 要子	●鈴木 祥子	●鈴木 欣一郎
	●宮森 ひろみ	●西岡 道	●南 希成	●和山 江里子	●永藤 博胤
	●高の原接骨院	●西尾 美香	●八木 孝夫	●斎 京真	
	●根本 千佐子	●石田 義明	●平田 政嗣	●阿部 薫	
	●佐々木 佳代	●石道 敦	●片倉 明日香	●荒尾 正人	

他大勢の匿名希望の方よりご支援いただきました。心より感謝申し上げます。



ありがとう！ 勤続10年スタッフ

あいの実の10年以上在籍しているスタッフは合計33名になりました！

2025/12/31現在



米富加奈子 さん

通所・管理者 児童発達管理責任者

スタッフ登録 2015年12月1日

10年ひと昔とは申しますが、入社してからあっという間に気付けば10年…気力・体力がいつまで持つかと思いつつも、法人の皆様、ご利用者様・ご家族様、沢山の方々に支えられて何とか続けて参りました。ありがとうございます。今後も「日々是精進」をモットーに、明るく楽しく努めたいと思います。



村山美和 さん

訪問・介護職員

スタッフ登録 2015年9月29日

忙日充実な10年でした。すべての利用者様、ご家族様、スタッフの皆様へ感謝致します。これからも初心を忘れず、穏やかに働いていきたいです。



安田 恵 さん

事務・事務職員

スタッフ登録 2015年8月25日

10年ですか。メッセージをお願いしますとのこの依頼がきて、10年経ったと気付かされました。ご利用者様の子どもたちを含め、スタッフの皆さま、業者の方など様々な出会いがあり、人生の財産となっています。皆さまに支えていただきながらやってきました。これからもお世話になります。よろしくお願いいたします。



斎藤陽子 さん

訪問・介護職員

スタッフ登録 2015年7月21日

スキルアップを目指しあいの実に来て10年になりました。これまでたくさんのご利用者さま、ご家族に出会う事ができました。心強い仲間にも恵まれた事が一番の幸せです。これからも働いて働いてまいりたいと思います。



関智子 さん

通所・看護師

スタッフ登録 2015年5月7日

あいの実で働き始めてからあっという間に10年が経ちました。ここまで続けてこられたのは、皆さんの助けがあったからだに感謝しています。これからも健康に気をつけながら、楽しく真摯に仕事に向き合っていきたいと思っています。

長年に渡ってあいの実を支えてくださっている大切なメンバーです。
これからもどうぞよろしくお願いいたします！

あいの実では、勤続10年・15年を経過した方に記念の盾と記念品を贈呈しています。



R・E・A・L

●ほのぴあ・リアル●

『行けるかも』を『行けた』へ
きょうだい児の悩みが笑い混じりの作戦会議に



参加者からは、うれしい感想も届いています。

あいの実の『カフェドウルミル』で働く医療ケアママも、新しい役割に挑戦しました。相談スタッフとして輪に入り、明日へのヒントを語り合いました。

イベントでは、当事者同士で最新情報と体験談を交わし、学び合いました。毎回、笑いあり、涙ありです。

仙台市医師会館にて開催。

『子どもに障害がある』と知ったとき…

心が沈んだとき、悩んだとき、どうやって乗り越えてきたの？ 2026.1/28

仙台市医師会館にて開催。

『就学って何を準備したらいい？ 卒業後の生活ってどんな感じ？』 2025.10/29

『子どもの困りごと』 2025.7/9

まちづくりスポーツ仙台にて開催。

『就学って何を準備したらいい？ 卒業後の生活ってどんな感じ？』 2025.10/29

『子どもの困りごと』 2025.7/9

まちづくりスポーツ仙台にて開催。

『子どもの困りごと』 2025.7/9

ほのぴあ
についてはこちらから
ホームページへ！

Instagram
フォロワー
お願いします！

仙台市との協働事業『ほのぴあ』は、次年度に向けて準備中です。

次の一歩を連れてきます。

仙台市との協働事業『ほのぴあ』は、次年度に向けて準備中です。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

『行けるかも』が『行けた』に変わり、キャンプや旅行の計画が動き出します。きょうだい児の悩みも、いつの間にか笑い混じりの作戦会議に。つながりは連絡先だけで終わらず、次の一歩を連れてきます。

